



副町長  
山下彦志

世話役の方々に感謝、積極的に事業を推進したい

現在さつま町には、県内では奄美市に次ぐスポーツ合宿などの利用者が訪れています。

これは、ある程度充実した施設と使用料の免除制度、旅館の統一した低料金制、豊富な温泉、国道3線が交差する交通の要衝など他の地域に比べ優位な要因によるところがあります。しかし、一番はなんと言っても合宿など誘致に積極的に取り組んでいただいている「世話役」の方々の努力に他なりません。コンベンションタウン事業を推進するきっかけになった、当時のラグビー関係者の方々、そして現在もラグビーはもちろん、バレーボール・サッカー・ソフトボール・水泳など幅広い競技の合宿が行われているのも「世話役」の方々の「汗」が今日の成果につながっています。皆様のご尽力に感謝しています。

さつま町も合併後、観光推進のための大きな目標として「交流人口2百万人」を目指し、各種の政策を行っています。コンベンションタウン事業はこの中でも大きな比重を占めています。

合宿などで多くの人々が交流をすることで、宿泊施設の利用促進はもちろんのこと、町内商業の活性化や町内産物などの消費拡大が図られ、その経済効果は大きなものがあります。

一方、課題として、宿泊料金の関係や各競技の合宿時期調整、文化関係の合宿誘致などがあります。これらについては、各競技団体や町関係課で組織しています「コンベンションタウンさつま推進協議会」で協議を進めて参ります。

今後も、町全体の活性化を図るため、コンベンションタウン事業を積極的に推進していきたいと考えています。

# コンベンション 発展させよう!

# スポーツコンベンション もっと

## 利用者の声 2006 夏合宿 アンケートより

### グラウンドについて

芝の状態もすばらしく、何も言うことはありません。管理の皆様に感謝申し上げます。 - A高校 -  
芝生で助かります。 - B高校 -  
最高のグラウンド（芝）を使用させて頂き非常に助かりました。特に熱中症対策やケガ防止にもすばらしい環境が整っていました。 - C高校 -

### 宿泊施設について

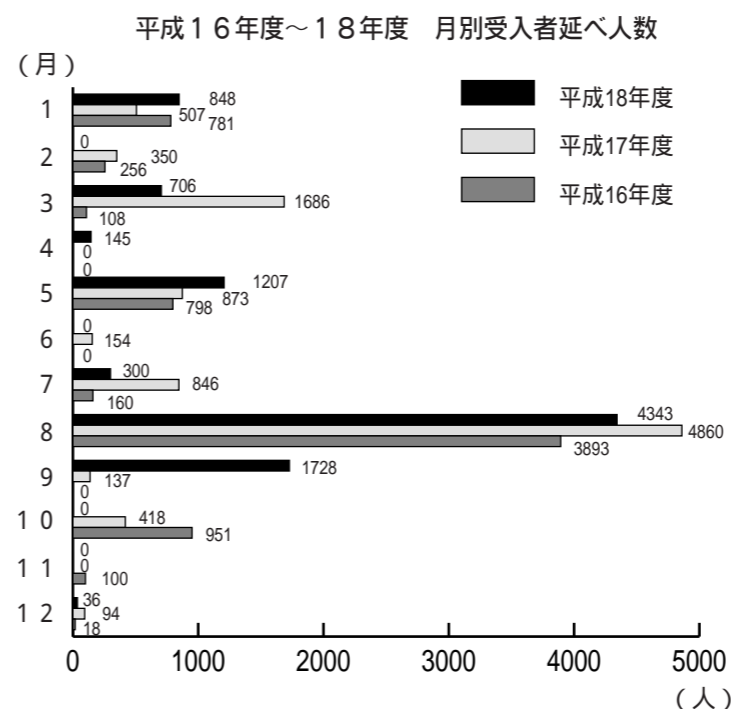
施設は良かったのですが、食事の面が気になりました。量は申し分ありません。安価で宿泊させてもらいながら、無理なお願いですが、栄養面をもう少し考えて頂けると有り難いです。また宿からグラウンドまでの距離が遠く大変でした。 - A高校 -  
部屋の掃除やトイレのスリッパがない部屋があるなど行き届いていない面が見受けられた。また、使用できない施設もあり不備を感じた。 - D高校 -  
一生懸命にやっていたので、申し訳ないですが、受け入れ態勢など宿によって差があるように感じました。 - B高校 -  
すべてにおいて、とても気をつけていただきありがたい限りでした。また、使用したいです。 - C高校 -  
食事や心遣いの面で色々とかけて頂きました。食事も選手たちにおいしいと好評でした。 - E高校 -

### その他

大変お世話になりました。来年もよろしくお願ひ致します。関係の皆様によろしくお伝えください。 - A高校 -  
支払いの件など、事前の打ち合わせとは異なる点もあり、困惑した場面もあった。宿舎の中の衛生管理をもう少し改善して頂きたい。 - D高校 -  
水やテントなど、熱中症防止やアイシングに助かりました。やはり、コインランドリ - が近くにあったことが助かりました。 - C高校 -  
今年も実り多い合宿ができました。色々とお世話になりました。夏の暑い時期ですので、氷のチケットに毎年本当に有り難く使わせて頂いています。来年も参加したいと考えていますので、よろしくお願ひ致します。 - E高校 -

本町は、スポーツ合宿地として、すっかり定着しています。本町の合宿の魅力は、食事・宿・スポーツ施設を満たす環境が整っていると言われている。三拍子揃いの合宿地で、宿泊代も安く温泉宿が人気を呼んでいます。さらにもっと、発展させるためには、利用者の声を常に聞くことも大切です。

受け止めて、スポーツコンベンションで町を売り出す絶好の機会と捉え考えていく必要があります。下の棒グラフは、月別受入者延べ人数を表しています。4月と6月、11月と12月は、受入者数が少なく対策を講じる必要があります。秋のスポーツ大会の開催や高齢者スポーツ団体の受け入れなど、年間を通じて合宿誘致を図ることも必要です。



最後まで面倒を見る合宿受入態勢と大会誘致が必要です



得永明弘さん

コンベンションを通じてのバレー合宿は、行政から色々とか協力いただき、有り難く感謝しています。夏場の合宿では、清涼飲料水や氷などの差入れがあり、合宿生も大変喜んでいました。体育館も無料で提供して頂き、学校関係者も助かっています。

高校バレーについては、合宿で仕上げ、大会に臨むというチームがほとんどです。受け入れた以上は、最後までしっかりと面倒を見ています。大会でいい結果がでると、うれしくて、電話をしたり、電報を打ったりしています。

また、この地域で大きな大会が開催できればと考えますが、今の体育館では連続4面コートで試合ができないため、なかなか難しい状況で、残念に思います。大会の開催は、魅力的ですし、多くの方が来てくれます。工夫を凝らして本町で大会が開催できれば、地域も活気づくのではないかと思います。温泉旅館もありますし、ここは良いと評判が広がると、もっと合宿団体なども増えて、様々な分野にも経済波及効果が現れるのではないかと思います。

バレー合宿の受け入れて、一番難しいのが、日程調整です。年間を通じて、体育館では、様々な競技スポーツが行われます。毎年4月に関係者と連絡調整をしている状況です。1月初めのバレー合宿は、春高バレーに向けての調整期間の合宿となります。特に、この時期の体育館の使用については、合宿生を優先的に使用させて頂きたいと思う気持ちがあります。

今年の夏合宿は、町内のスポーツ店にスポンサーとなっただき、8月12日の最終日に、さつま大会を実施する運びとなりました。これからも、発展的なコンベンションを目指して、私たちが頑張っていきたいと思っています。